

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 19 号 2016 年 8 月 19 日

連日熱戦が繰り広げられているリオ五輪も終盤になってきました。
お目当ての競技や選手の活躍を深夜のライブ中継で観戦されている方も多い
ことでしょう。南米初の五輪開会式で訴えられたテーマは、一つの地球に住む
地球人として「寛容さと多様性の尊重」と「環境保護」でした。世界の超人達
の活躍に拍手を送ると同時に、9月のパラリンピックにも注目したいものです。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第 19 号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【 1 】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第 23 回コンサート
- 【 2 】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆ 第 24 回コンサート
 - ◆ 第 25 回コンサート
- 【 3 】 意外に身近にあるオペラの音楽！
- 【 4 】 コンサートのアンケートから

【 1 】 次回コンサートのご案内

■■ 第 23 回コンサート ■■

- ◇ 2016 年 9 月 18 日（日曜日）14:00 開演（13:30 受付開始）
- ◇ 出演：大川信之（テノール）、田島亘祥（ピアノ）、矢崎貴子（ピアノ）
- ◇ プログラム（予定）
 - ◆ ヘンデル：天地は怒りで身を固め 「タメルラーノ」より
 - ◆ モーツァルト：なんと美しいこの絵姿 「魔笛」より
 - ◆ ドニゼッティ：人知れぬ涙 「愛の妙薬」より
 - ◆ マスネ：春風よ、なぜ私を目覚めさせるのか 「ウエルテル」より
 - ◆ レハール：君こそわが心の全て 「微笑みの国」より
 - ◆ 亜麻色の髪の乙女
 - ◆ また逢う日まで
 - ◆ シクラメンのかほり
 - ◆ 木綿のハンカチーフ
 - ◆ 愛のメモリー 他
- ◇ 料金：大人・高校生 2,000 円、中学生以下 1,000 円
- ◇ 会場：大倉山記念館ホール

第 23 回ジョイフルコンサートは

『まるごと！ テノールの魅力～オペラアリアの数々と昭和の歌・我が心ゴールデンセレクト』と題して、お届けします。

演奏者からメッセージが届いています

前半は、オペラアリアとピアノ連弾です。クラシックの王道を行く名曲の数々
です。後半は、ガラリと変わり昭和の歌謡曲をクラシックアレンジします。
正反対であるかのようなジャンルが互いに交差し、融合しあう空間を作りだ
します。

今回のジョイフルコンサートはテノールの演奏です。ピアノの連弾もあり、
なんと昭和の歌謡曲まであり、ビックリなプログラムです。

演奏者の方の意気込みも十分でテノールの魅力満載です。

○フランツ・レハール/『微笑みの国』より“君こそわが心の全て”

☆フランツ・レハール

オーストリア＝ハンガリー帝国の申し子のようにとらえられている作曲家で、ドイツ人を両親にハンガリーで生まれました。ウィーンでオペレッタ作曲家としてデビューし、「メリー・ウィドウ」で人気作曲家となります。この中のワルツ「唇は語らず」はよく演奏される曲で皆様にもお馴染の曲だと思います。

その後、これまでのオペレッタの喜劇一辺倒の路線から笑いも混ぜつつ、シリアスに展開する独自のオペレッタを確立していきます。

しかし、この「メリー・ウィドウ」がレハール自身に大きく影を落としていきます。レハールの妻はユダヤ人でした。この「メリー・ウィドウ」はヒットラーのお気に入りの曲の1つでした。そのためレハールはナチスの庇護を受けることとなります。レハールは「メリー・ウィドウ」のスコアをヒットラーに贈ったそうです。

今回歌われる「君こそわが心の全て」を作詞し、このオペレッタ「微笑みの国」の台本を担当したユダヤ人作家フリッツ・レーナー＝ペーダはレハールに助けを求めるのですが、レハールはナチスから夫人のことを言われ、口出しを禁じられてしまいます。結局レーナーは1944年強制収容所で亡くなったそうです。戦後レハールは「ナチスの協力者」と大きな非難を浴びたそうです。

レハールも政治や時代に翻弄された作曲家の一人と言えますね。

☆『微笑みの国』

当時ヨーロッパではオリエンタリズムが流行していたそうです。それはかなり想像の部分が大きかったそうですが。そのような背景で描かれた物語を元に作られたオペレッタです。

ウィーンの侯爵令嬢リーザが「常に微笑むのみ」と感情を表に出さない中国人外交官のスー・チョン殿下に思いを寄せ、殿下が首相に選ばれ本国に帰ることになったことを期に2人は結婚し中国に向かいます。しかし、余りにも習慣が違う中国でリーザは徐々に疲弊していき、中国のしきたりで殿下が4人の女性と結婚するという事を知ったことが決定打となりウィーンに逃げようとしています。リーザに残ってほしいと殿下は説得しますが上手くいかず、殿下はリーザを軟禁してしまうのです。この軟禁でリーザの心は完全に殿下から離れてしまいます。もう心を取り戻すことはできないと悟った殿下は「悲しみも微笑みの下に隠すのだ」と言ってリーザを見送ります。

その間リーザに思いを寄せる幼馴染のグスタフ中尉、リーザの良き理解者となるスー・チョン殿下の妹ミーが登場し更にいろいろなドラマが展開されますが、ここでは省略させていただきます。

<https://www.youtube.com/watch?v=0-ZDZ2KYmcg>

こちらで「君こそわが心の全て」を聴けます。日本語の訳もありますのでわかりやすいかと思います。

本格的なオペラのアリアとピアノ演奏と昭和の歌謡曲と盛りだくさんな内容のプログラムです。どうぞお楽しみになさってください。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第24回コンサート■■

◇2016年11月20日（日曜日）

◇出演：須藤千晴（ピアノ）

◆予約受付開始日：2016年9月19日（月曜日）

■■第25回コンサート■■

◇2017年1月15日（日曜日）

◇出演：景山梨乃（ハープ）

【3】意外に身近にあるオペラの音楽！

「オペラ」というと「難しい」または「敷居が高い」といったイメージを持っていらっしゃる人も多いと思います。でも、オペラを劇場に観に行ったことがない人でもオペラの音楽はよく耳にしているのです。

オーケストラのコンサートの1曲目はオペラの序曲や前奏曲が演奏されることが多いからです。

例えば、モーツァルトの「フィガロの結婚」、ロッシーニの「セヴィリヤの理髪師」「ウィリアム・テル」、ベートーヴェンの「レオノーレ序曲第3番」、ウェーバーの「魔弾の射手」、J.シュトラウスの「こうもり」、ヴェルディの「運命の力」、ワーグナーの「タンホイザー」の序曲などです。

では、なぜオペラに序曲が必要だったかというと・・・

オペラが誕生してすぐの頃はオペラの開始前の客席は騒がしく、遅れてきた人も多くいたそうです。

そのために、まず客席を舞台に集中させる必要があり、序曲を演奏することでオペラが始まることを知らせたのです。

つまり、序曲はオペラ全体から考えればそんなに重要視されていなかったのです。しかし、古典派からロマン派の時代にかけて序曲はオペラ全体との関わりを深めていきます。オペラの各場面の主なフレーズを序曲の中に取り入れ、序曲はそのオペラの全体像を暗示するようになるのです。

そして、次第に序曲はオペラ全体に対してあまりにも大きなものとなり別個の存在として浮き上がっていきました。

この動きに対して、ワーグナーはもっと簡略に、そして内容的にもオペラの本筋に沿った音楽を各幕の冒頭に演奏するようにしました。

序曲は前奏曲となり、ワーグナーはオペラの「ローエングリン」から前奏曲を採用するようになり、「ニュールンベルクのマイスタージンガー」「トリスタンとイゾルデ」「パルジファル」などの前奏曲を作曲します。その他ではビゼーの「カルメン」の前奏曲が有名です。

前奏曲のほかに、オペラの中で、オペラ歌手が歌わずにオーケストラの演奏が主役になる「間奏曲」があります。

間奏曲の中にも名曲がたくさんあります。

ビゼーの「カルメン」の間奏曲、マスカーニの「カヴァレリア・ルスティカーナ」の間奏曲です。そして、マスネのオペラ「タイス」の間奏曲は「タイスの瞑想曲」というタイトルでヴァイオリンの名曲として本当に有名です。

序曲、前奏曲、間奏曲はメロディが美しく覚えやすく、それだけで一つの音楽作品として成り立つ素晴らしい楽曲です。

でもこれを入力として、いつかオペラ全曲を聴いてみたいと思っています。（のん）

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（7月17日公演）、
『2つの鍵盤から広がる世界～あの名曲をマリンバとピアノで』
は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」「良かった」の合計が86%で、
残りは「無回答」の14%でした。

自由記入欄（ご感想など）には、
『初めてナマでマリンバを聴きました。一曲目で頭をガーンとたたかれたような
ショックを受けました。柔らかい音色も心にしみました』『チャルダッシュ：
マレットの逆サイドで演奏したものを初めて聴きました。タンゴカッコいい!!!
ガーシュウィン良かったあ！日本の歌：楽しい構成！』『トークが軽快でプログラ
ム構成もよく、楽しかったです』『マリンバのバチの反対側でひく様子は初めて
見ました。きき覚えのある曲ばかりなので、トリ肌ものでした！』など。

一方、『会場が蒸し暑かった』『エアコン温度下げて』などの苦言も頂きました。
当日は湿度が75%もあり、冷房能力をフル設定で対応しましたが満席のためか
なかなか温度が下がらない状態でした。
「アンケート」集計結果をもとに、記念館には設備の改善検討を申し入れました。

【編集後記】

大倉山ジョイフィルコンサートの設立準備段階から、共に活動してきた仲間の
一人が昨年病に倒れ、闘病中であつたが、この8日に亡くなった。
当初から重要役割を担い続け、ご本人も、仲間も活動への復帰を待ち望んでい
ただけに残念でならない。
遺志を受け継いで益々ジョイコンを盛り立てていくことを改めて誓いたい。（お）

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>